

よりよい学校に向けた学校評価

札幌市立太平小学校

I はじめに

よりよい学校につな
げる学校評価



1 本校における学校評価のねらい

本校においては、年度末反省を中心とした学校評価が行われてきた。そこでは、運営面に関する取組の反省が主となり、十分な指導の改善にいたらなかった。よりよい学校にするため、今年度は重点を絞り、取り組んでいくことにした。学校経営方針「豊かな心と学びをはぐくむ学校」に基づき、教科重点目標として「学ぶ楽しさを実感する授業の構築」、校務分掌の重点目標として「認め合い支え合う学校の創造」の2つを設定した。よりよい学校とは、重点目標の達成状況やその取組の評価に対して全職員が参加し、課題を共有し、改善策を協働で取り組むこと、つまり経営参画意識や組織的な対応ができる学校と考える。結果、外に開かれた信頼される学校となり、職員一人一人の力が重点目標に向かうとき、学校評価の意義や効果が表れ、よりよい学校となっていくと考える。

本校では、以前からよりよい授業を作っていくために保護者や地域の声も聞きながら指導の改善を図ってきた。参観授業の時に授業アンケートを記入している。○をつけてもらう項目の他に、参観の感想や要望等の自由記述欄もあるのですぐに対応しなければならない点については改善し、時間のかかることについては少しずつ改善している。また、感謝の言葉や信頼を寄せる内容は、とても励みになる。この授業アンケートも学校評価と合わせて継続していきたいと考えている。

2 昨年度の学校評価を基にした改善点

本校では、昨年度まで、中間の時点で保護者から協力を得るという形で「よりよい学校をつくるために」というアンケート（9項目）と「子どもの育ちにかかわる」アンケート（16項目）を実施し、その結果を受けとめて少しずつ改善に努めてきた。しかし、アンケート項目の中には似たような内容があり、改善の必要を感じていた。また、子どものアンケートは数年前に中断したまま行っていなかったので再開した。これまでは、保護者とは別の観点で子どものアンケートを実施していた。保護者と観点を共通することにより、両者の考え方・感じ方の類似点や相違点が明らかになると考え、10項目ほどに絞って変更している。また、1回だったアンケートを中間期と年度末期に2回実施することも変更点である。

さらに、教職員も教育目標の重点に沿った形で中間評価と年度末評価を行うことにしている。

評価の2期4節のサイクルを基に子どもたちの育ちを長いスパンでとらえ、よりよい学校づくりに向けて全職員で指導・改善に取り組んでいくことにしている。

II 本校の学校評価システム

学校評価システム

1 自己評価と評価委員会

本校では、教育課程編成と学校評価の仕事も兼任する形で教育課程検討委員会が設置されている。各学年から1名ずつ、特別支援学級から1名、教頭、教務主任からなる9名のメンバーで構成されている。

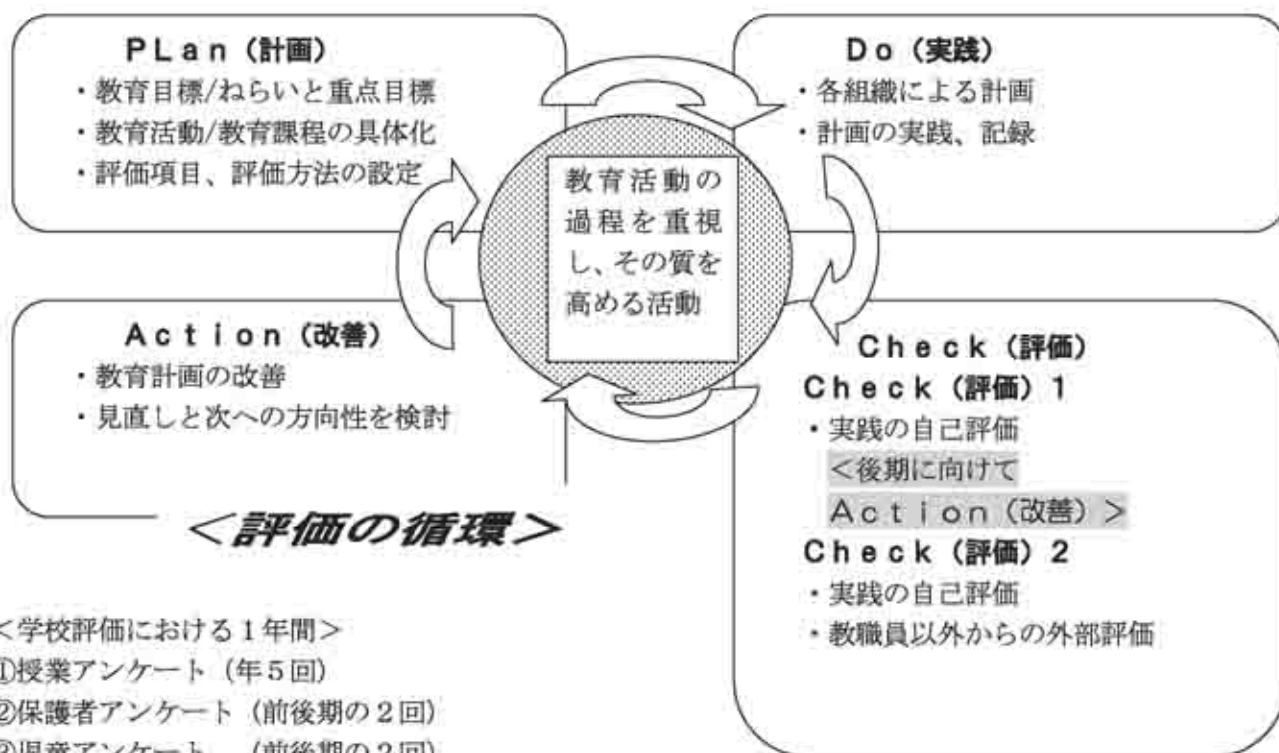
確かな自己評価を進めるため、中間・年度末2回の学校評価を行う際、教職員による評価、児童・保護者によるアンケート、学力調査結果を基に、自己評価をまとめ、学校としての改善点や共通認識したいことを確認し、学校評価を進めている。

教職員評価の評価項目設定に当たっては、学校重点目標や学校経営の重点を基にしている。これまでは文章記述のみだったが、学校評価ガイドラインに沿った評価項目を設定し4段階の評価を行っている。

2 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会のメンバーは、学校評議員3名をお願いしている。中間自己評価書、年度末自己評価書について意見交換している。

本校の教育活動についてご理解いただき、併せてご助言もいただいている。また、前期学級説明会のときには同席し、紹介した。後期には説明会に登場願ひ、意見をもらう予定である。



<学校評価における1年間>

- ①授業アンケート (年5回)
- ②保護者アンケート (前後期の2回)
- ③児童アンケート (前後期の2回)
- ④学校評価 (職員の間接評価、年度末評価)
- ⑤学校関係者評価の位置付け (学校評議員3名を継続して願ひする)

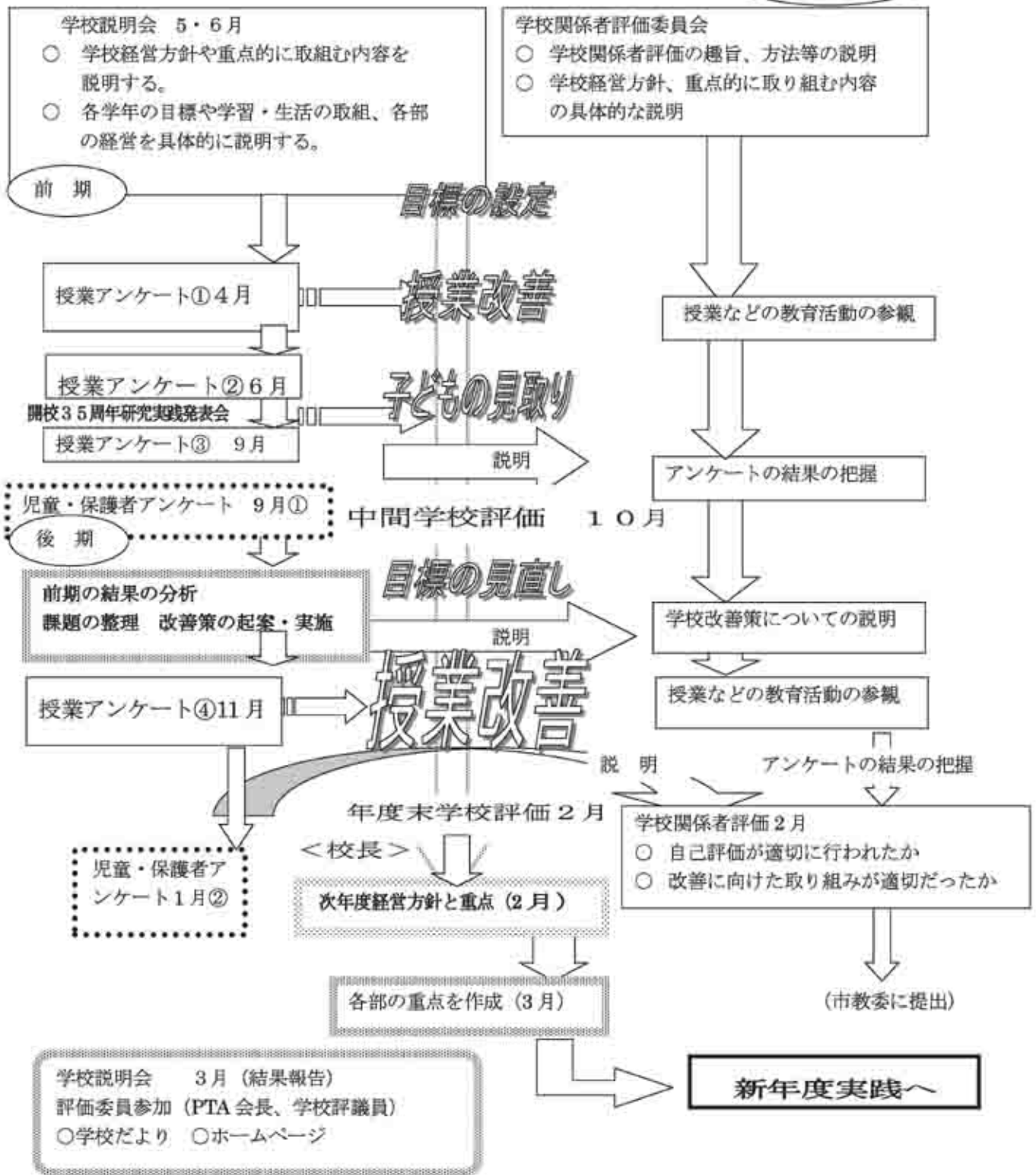
現PTA会長、地域保育園園長、退職校長

- ・保護者アンケート、児童アンケートについては、教務係で作成し提案。
- ・学校評価 (中間、年度末評価) 資料は、昨年度までの項目を重点化して教務主任が作成し、今年度から実施。

Ⅲ 学校評価の年間の流れ

学校経営の方針 豊かな心と学びをはぐくむ学校 学年・学級経営目標
 重点目標 学ぶ楽しさを実感する授業の構築 教科重点目標
 認め合い支え合う学校の創造 校務分掌重点目標

子どもの具体的な姿
で考えよう(共通化)



IV 学校評価の方法

評価項目の重点化を図る

1 自己評価

(1) 項目の設定

本校では、13項目を設定した。(資料参照)

(2) 児童・保護者アンケートの実施

中間と年度末の2回行う。

(3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成

アンケートは、集約・分析の後、学校便りの特別号で保護者に知らせ、学校説明会において対応策等について説明する。自己評価書は、教職員の評価結果を中心にまとめてまとめた。

(4) 改善策の検討

学校評価全体会で検討する。

2 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員の構成と役割

学校評議委員3名でなり、自己評価の内容について説明し、教育活動や学校運営の改善が適切に行われたか意見をもらう。

(2) 学校関係者評価書の作成

学校の自己評価書に基づき、評価結果を学校関係者評価書としてとりまとめる。

V 評価結果の公表

公表方法の多様化

1 公表の方法

学校便り、学校説明会、学校のホームページで公開する。

VI 成果と課題

学校関係者評価をすることにより客観的な評価の取り組み体制が整った。また学校評価の1年間の流れを作ることができた。

しかし、課題もある。評価項目やアンケート項目を絞って設定したが、まだ網羅的な部分があった。ねらいや重点目標に立ち返って絞り込む必要性を感じ、見直していきたい。

学校説明会の時期ともち方の工夫の必要性を感じた。前期は、保護者と職員が一堂に会して、顔の見える学校説明会を初めて行った。後期は、学校評議員の登場を検討している。どんな子どもに育てていきたいのか全職員が共通理解し、外部に理解してもらうようにしていきたい。

学校評価の年間計画に基づいて取り組んだが、スムーズにいかなかった点もあった。もっと必要な項目に絞り、共通理解を図りながら取り組みたい。

学校関係者評価委員のメンバーが現状でよいのかどうか検討していく必要がある。また、学校関係者評価委員会のメンバーには仕事柄忙しい委員もいるので都合のつく時にお話しを受けている。

今後は、ホームページに載せていくことを検討していきたい。

平成20年 自己評価書

1、本年度の重点目標

豊かな心と学びをはぐくむ学校

2、本年度の経営方針

○学ぶ楽しさを実感する授業の構築

3、自己評価結果

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
重点目標Ⅰ 子ども一人一人を大切にした教育課程の実践			
学習指導	①授業研究の継続的実施、授業改善の取り組み		
	②個に応じた指導の方法（個別指導、グループ指導、習熟度別）		
	③ティームティーチング指導など協力的な指導の状況		
	④基礎基本の定着を図る取り組み（家庭学習の協力を呼びかけ、家庭と連携をしながら自ら学ぶ習慣づくり）		
特別支援教育	①特別支援学級と通常学級の交流及び共同学習の取り組み（個別学習の支援・実態から改善へ）		
重点目標Ⅱ 安心、安全の学校づくり			
生徒指導	①学校の教職員全体として児童指導に取り組む体制（挨拶の習慣や集団の自覚や規律）		
	②児童理解（問題行動と不登校の把握と指導など）		
	③PTA（保護者）、地域住民によるボランティア活動との連携		
安全管理	①安全点検（通学路の安全点検を含む）教職員・児童の安全対応能力を向上するための取り組み		
	②命の大切さについて指導する安全指導と危機管理マニュアル等の作成		
重点目標Ⅲ 1年間の見通しと2学期振り返り、改善に向けての学校運営			
学校評価	①学校評価体制の確立		
	②自己評価・児童、保護者アンケートの実施と活用		
	③学校関係者評価による評価を生かす取り組み		

平成20年 自己評価及び学校関係者評価書

1 本年度の重点目標

豊かな心と学びをはぐくむ学校

2 本年度の経営方針

- 学ぶ楽しさを実感する授業の構築
- 認め合い支え合う学校の創造

3、自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標Ⅰ 子ども一人一人を大切にした教育課程の実践					
学習指導	①授業研究の継続的実施、授業改善の取り組み				
	②個に応じた指導の方法（個別指導、グループ指導、習熟度別）				
	③チームティーチング指導など協力的な指導の状況				
	④基礎基本の定着を図る取り組み（家庭学習の協力を呼びかけ、家庭と連携をしながら自ら学ぶ習慣づくり）				
特別支援教育	①特別支援学級と通常学級の交流及び共同学習の取り組み（個別学習の支援・実態から改善へ）				
学校関係者評価者による意見					
重点目標Ⅱ 安心、安全の学校づくり					
生徒指導	①学校の教職員全体として児童指導に取り組む体制（挨拶の習慣や集団の自覚や規律）				
	②児童理解（問題行動と不登校の把握と指導など）				
	③PTA（保護者）、地域住民によるボランティア活動との連携				
安全管理	①安全点検（通学路の安全点検を含む）教職員・児童の安全対応能力を向上するための取り組み				
	②命の大切さについて指導する安全指導と危機管理マニュアル等の作成				
学校関係者評価者による意見					
重点目標Ⅲ 1年間の見通しと2学期振り返り、改善に向けての学校運営					
学校評価	①学校評価体制の確立				
	②自己評価・児童、保護者アンケートの実施と活用				
	③学校関係者評価による評価を生かす取り組み				
学校関係者評価者による意見					